

5月

新着本の紹介



青字は児童書

書名	著者名	内容
豆は煮えたか	朝井 まかて	深川佐賀町の水茶屋「ささげや」の女将・お玉。彼女は、人の掌に触れると、その人の「人生の束の間が観える」という不思議な力を持っています。悩みを抱えた人々が「豆は煮えたか」という符牒を合図に彼女を訪れ、その不思議な力に導かれていきます。
謎の香りはパン屋から2	土屋うさぎ	小春は、店長の堂前やギャルのレナ先輩に囲まれながら、パン屋〈ノスティモ〉でアルバイトを続けていた。後輩となる高校生の杏樹も加わり、賑やかに過ぎる四月の日々。しかし「来月は毎日でもシフトに入る」とやる気を見せて退勤した杏樹が、数時間後に退職したいと連絡を寄越してきて……。
誓いの証言	柚月裕子	弁護士の佐方貞人のもとに、警察から一本の電話が入った。逮捕した男が、佐方を弁護人に指名しているという。男は大学時代の同期・久保利典。無実を主張する久保を信じ、事件の経緯を調べはじめた佐方だったが、女性が久保を嵌める動機が見当たらない。二人の過去を探るうち、約20年前に起きた、石職人の死亡事故が浮かび上がる。
盾と矛	方丈 貴恵	「絶対に逃さない探偵」草津正守。旧友である霧島は、草津の「助手」 「必ず無罪にする仕事人」ヒミコ 「事件は犯人が分かってからが本番だよ」 草津は霧島と共に現地へ臨場し、仕事人ヒミコとの上書き推理合戦に挑む！(6月配架予定)
交渉人・遠野麻衣子 ハイジャック	五十嵐 貴久	警視庁捜一特殊犯捜査係の交渉人・遠野麻衣子警視へ緊急出動命令がくだる。旅客機がハイジャックされ、正体不明の犯人によるメッセージを代読する一ノ瀬CAと麻衣子の交渉が続く。四面楚歌の麻衣子は人質全員を解放できるのか？
爺さんバイク奮闘記	佐東敏三郎	及大たつこの酒飲み話で大空ハイブ・ハーレーに乗って北海道ツーリングを約束してしまった。本人は冗談と思って忘れていたが、友人は本気で逃げられなくなってしまう。約半世紀ぶりにバイクに乗った。乗ったこともないハーレーだ。恐怖と苦労の連続で、無事にツーリングを終えるまでの経緯を綴った勇気・努力・友情の物語だ。
つむじ風食堂の夜	吉田篤弘	それは、笑いのこぼれる夜。十字路の角にぼつりとひとつ灯をともし、名無しの食堂。初めて訪れても懐かしいこの場所から、物語がはじまる。月舟町の物語。多くの愛されてきたロングセラー小説を全面改稿した決定版。
青天	若林 正恭	総大三高の「アリ」こと中村昂が所属するアメフト部は、万年2回戦どまり。引退大会では、強豪に打ち破れた。引退後、みなが受験に向かうなか、勉強にも気持ちが入らず、不良になる覚悟もないまま宙ぶらりんの日々を過ごす。自分自身の不甲斐なさにもがき続けるなかで、アリは再びアメフトと向き合う決意を固め

擬恐竜図鑑 新しく発見された、スシニギリス類の分類と生態

クマコロ

サーモンニギリス、エビニギリス、グンカンイクラス……恐竜に擬態する、手の平サイズの新生物群「スシニギリス」が発見された。その生物群をユニークなビジュアルとともに詳解した、ビジュアル空想図鑑。想像力が喚起される、眺めるだけで楽しめる図鑑。

出版社HPより

【お知らせ】 月刊誌も配架しています。ぜひ、ご利用ください。

- NHKテレビテキスト「囲碁講座」「すてきにハンドメイド」
- 「ESSE」

